



尾花沢市長
菅根 光雄

すがね みつお

平成30年8月に市長就任。現在就任3年目。市議会議員23年の経験を活かし、市民に寄り添いながら「人にやさしくあったかい元気な尾花沢」を目指し、市政運営に取り組んでいる。趣味はそば打ち。



7月4日オープンした「名木沢生涯スポーツ交流センター」。福原地区民の新たな拠点として活躍。

受けて、大根収穫体験やそばオーナー制で植えたものが収穫できない事態になってしまいました。今年2年目の「西原かしの郷」で一番注目を集めたかかしは交通安全関係のものでした。事故の多い交差点に警官そっくりのかかしを立てたところ、みんな注意するようになったよ。交通安全啓蒙の効果が出たと思います。かかしを話題に家庭内での会話が增えたこの声も聞こえてきています。これまで地域行事に参加しなかった人も、かかしを通して「何かできることないか?」と進んで協力してくれるようになったのがうれしかったですね。今後は寺内地区ともコラボして、家族の絆、地域の絆が深まるような

地区内に広がる会話、高まる興味・関心

(菅野) 地域に今まで関心なかった人が参加するようになったなど、興味を持っていただいたと感じることがあれば教えてください。

その地域に活気が出るようなことをやっていきたいです。**(大貫)** 地域活動が活発になるにつれ、地区民同士気軽に話ができるようになりました。雪がない地域から中刈に嫁いできたお母さんたちは、以前は雪に苦しんでいたようですが、今は2月頃になると「ああ、雪がなくなるやわ。」と言って雪が溶けるのを心配し始めるんです。中刈の雪まつりに参加することで、雪の楽しみ方を覚えたよかったですね。また、イベントの際に産直を開くことで、自分たちで作ったものを売る意識付けもできてきました。何でも無料提供するのではなく、少しでも対価を得ることで、自分たちも相手の方もお互いに満足感を得られるのだと思います。

(高橋) 良かったことの一つは、夏に開催した丹生川での川遊びです。たくさん子どもたちが参加してくれて、保護者の反応も良かったです。子どもだけでは危険なので、スタッフ全員で見守りながら行いました。



10月29日に徳良湖畔で行った「十三夜観月会」。季節や地元の伝統文化などの「かたり」を各地で主宰。

コーディネーター
菅野 美和子

すがの みわこ

平成26年12月から北村山地域の情報誌「きたにゃ」、その後寒河江・村山地域にエリアを拡大統合された「ずーにゃ」の編集者を経て、現在は「開運かたりべ」・「Sugaちどりコンサル」として、地域文化を題材にしたかたりべの活動や、企業へのアドバイスをを行っている。横町在住。



ニツ森ゆう大学
学長 **高橋 成男**

たかはし しげお

平成14年3月に発足した「ニツ森ゆう大学」を主宰。玉野地区の子どもたちを対象に、毎月1回のペースで子どもたちの地域行事を企画・開催（ニツ森登山、川遊び・バーベキュー、上の畑焼絵付け体験、そば打ち体験など）。



ニツ森ゆう大学スタッフも先生になった「ブナ林散策」。葉っぱでおぼけを作るぞ〜。

い人を動かすには、先輩たちから使われている「感をなくして全部任せることが大事。最近では、若者たちが自主的に夏祭りを企画したり、棚田のグラウンドゴルフ大会が実現したりしています。地域みんなで楽しくすること、お母さんたちも積極的に参加するようになり、今では自分たちから「雪像づくりしてみたいや」などアイデアが出てきています。今年には棚田で栽培した「雪きらり」がふるさと納税の返礼品に採用され、大変ながらもやりがいを感じました。とにかく「自分たちが楽しまなければならぬ」がモットーです。**(高橋)** ニツ森ゆう大学が発足したきっかけは、完全学校週5日制が始まったことでした。これを地域の課題として捉え、せめて月1回は小中学生に有意義な時間を与えたいと始まり、今年で19年目を迎えました。今年はコロナの影響で回数が減っていますが、例年だと年8回程度活動しています。丹生川

での川遊びやブナ林散策など。今年には徳良湖で玉野小全校芋煮会も行いました。地域の行事なので、参加の意思は子どもたち、保護者の自由です。魅力がなければ参加してもらえないので、生徒の気持ちをいかに汲んでイベントを企画するか、そこが悩みです。**(五十嵐)** 月1回定例会を開き、前月の振り返りと当月の事業計画を話し合っています。今年は新型コロナウイルスの影響で7月末まで活動停止し、8月から再開しました。8月10日に開催した御堂森登山には、市内外から山好きの方が参加してくれました。地区民から、何のイベントをしているかわからないとの意見があったため、農家レストラン「蔵」の前に横断幕を作りました。イベントのある日は横断幕を掲げて、地区民にもわかるようにしています。また、冬は老人世帯やひとり暮らし世帯、空き家などの除雪のお手伝いもしています。困ったのは、鳥獣被害です。今年はイノシシやサルの被害を



「ふるさと定期便」でオール細野産、の旬の味覚を全国にお届け!

清流と山菜の里ほその村

会長 **五十嵐 幸一**

いがらし こういち

平成22年に組織された「清流と山菜の里ほその村」の会長。地域のお母さんたちによる農家レストラン「蔵」もオープン。御堂森・大平山登山など年間通じたイベントを企画。宮城県気仙沼市本吉町など、地区外の人たちとも積極的に交流している。

